

- 問1 秦の始皇帝が築き始め、その後、漢の時代にも整備された北方の騎馬民族を防ぐための巨大な城壁を何という？
- 問2 パレスチナで生まれ、神の愛と隣人愛を説いてキリスト教を広めた人物は誰？
- 問3 メソポタミア文明において使われていた、粘土板に刻む文字を何という？
- 問4 殷の時代、亀の甲羅や動物の骨に刻まれていた文字を何という？
- 問5 チグリス川とユーフラテス川の流域で発達した、世界最古といわれる文明を何という？
- 問6 旧石器時代の人々が、石を打ち砕いて作った狩りや採集のための道具を何という？
- 問7 ローマ帝国の初代皇帝として、独裁政治の基礎を固めた人物は誰？
- 問8 日本の旧石器時代に使われていた、石を打ち欠いてつくられた石器を何という？
- 問9 インダス文明が発展したことで知られる、現在のインドやパキスタンを流れる川を何という？
- 問10 黄河流域で発展した中国文明において、祭祀などの目的でつくられた金属製の道具を何という？
- 問11 古代ギリシアの高度な政治や文化を、労働力として支えていた社会的な仕組みを何という？
- 問12 古代エジプトで石碑やパピルスへの記録に用いられた、独特な絵文字を何という？
- 問13 メソポタミア文明で高度な数学的知識に基づき使われていた計算法を何という？
- 問14 古代中国の黄河流域で、亀の甲羅や動物の骨に刻まれて古いに使われた文字を何という？
- 問15 古代のインダス文明において、都市の衛生環境を整えるために整備された施設を何という？
- 問16 古代エジプト文明の発展を支えた、毎年決まった時期に氾濫して肥沃な土壌をもたらした川を何という？
- 問17 マチュピチュの遺跡において、接着剤を使わずに石を積み上げる高度な建築技術を何という？
- 問18 イスラム教の信者が、日々の礼拝や集団での祈りのために利用する宗教施設を何という？
- 問19 313年にキリスト教を公認し、のちにローマ帝国の国教化へとつながった命令を何という？
- 問20 エジプト文明を発展させるきっかけとなった、アフリカ大陸を流れる川を何という？
- 問21 7世紀、中大兄皇子らが中心となって行われた改革の際に採用された、日本で最初の元号を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 万里の長城	万里の長城は、農耕社会である中国を守るために築かれた巨大な防衛線です。秦の始皇帝が各地の城壁をつなぎ合わせて築き始め、漢の時代には西域への交易路を守る役割も兼ねて、さらに広範囲に整備が続けられました。
問2	答え イエス	イエスは、神の前ではすべての人が平等であるとし、神への愛だけでなく、互いに愛し合う「隣人愛」を説きました。その教えは、社会的に弱い立場にある人々からも広く支持されました。しかし、当時の支配層やユダヤ教の指導者と対立し、最後には十字架にかけられて処刑されました。
問3	答え 楔形文字	楔形文字は、葦などの先端を削って作ったペンで、柔らかい粘土板に押し付けるように刻まれる文字です。記録を残す必要性が高い交易や法規制のために不可欠で、世界最古の法典とされるハムムラビ法典もこの文字で記されました。
問4	答え 甲骨文字	甲骨文字は、殷の王が占いをした結果を記録するために、亀の甲羅や動物の骨に刻んだ文字です。文字そのものが絵に近い形をしており、自然現象や出来事を表しています。発見された骨からは、政治判断や収穫の予測、病気の治癒などに関する当時の記録が読み取れるため、古代史研究の最も重要な資料となっています。
問5	答え メソポタミア文明	メソポタミア文明は、シュメール人などによって築かれた世界最古の文明の一つです。灌漑農業を行い、神殿を中心に都市が発展しました。60進法や太陰暦などの高度な知識が生まれ、のちの文明に多大な影響を与えました。
問6	答え 打製石器	打製石器は、石を他の石で打ち砕き、刃や尖った部分を作った道具です。投げ槍の先や、獲物を解体するためのナイフとして使われました。非常にシンプルな作りですが、用途に応じて形が工夫されており、当時の生存のための技術を象徴するものです。
問7	答え アウグストゥス	アウグストゥスは内乱を収め、元老院から尊厳ある者（アウグストゥス）の称号を受け取りました。形式上は共和政の伝統を残しつつ、実質的な独裁権を握って行政や軍を支配する体制を整えました。
問8	答え 打製石器	打製石器は、黒曜石やサヌカイトなどの石を打ち割って鋭い刃を作った道具です。主に動物を狩るための槍の先や、皮をはぐためのナイフとして利用されました。この時代の生活は自然の恵みに頼る不安定なものでしたが、これらの道具が効率的な狩りを可能にしました。
問9	答え インダス川	インダス川流域では、雨季と乾季のサイクルに合わせて農業が営まれました。この川の恩恵を受けることで、モヘンジョ・ダロやハラッパーといった巨大な都市が形成され、食料が安定したことで人口も増加しました。
問10	答え 青銅器	青銅器は、銅と錫の合金を型に流し込んで作られた道具で、当時の王が権威を示す祭祀用の器として重宝されました。同時に、神への問いかけを亀の甲羅や牛の骨に刻んだ「甲骨文字」が使用され、これがのちの漢字の源流となりました。
問11	答え 奴隸制	市民が民会や公職といった政治活動に専念できるのは、農作業や家事などの重労働をすべて奴隸が担っていたからです。市民が政治に打ち込める余裕は、この奴隸による労働に大きく支えられていました。
問12	答え ヒエログリフ	ヒエログリフは、動物や植物、日常的な道具などを象った絵文字です。主に神殿や墓などの石碑に刻まれるほか、植物の茎を加工した紙であるパピルスにも記されました。神聖な文字として大切に扱われ、当時の社会生活や思想を今日に伝える貴重な資料となっています。
問13	答え 60進法	60という数字は割り切れる数が多く、分割や計算に非常に便利であったため、この計算法が発達しました。この知恵によって月の満ち欠けを元にした太陰暦が作られ、暦の基礎が整えられました。
問14	答え 甲骨文字	亀の甲羅や牛の肩甲骨などを火で焼き、生じたひび割れの形で吉凶を占いました。その結果を刻み込んだものが甲骨文字です。この文字は、象形文字（ものの形をかたどった文字）を中心としており、現代使われている漢字の直接的な祖先となりました。
問15	答え 下水道	都市には住宅から汚水を流すためのレンガ造りの下水道が完備されていました。これは紀元前の文明としては極めて珍しく、当時の人々の衛生意識の高さと優れた土木建築技術を示しています。
問16	答え ナイル川	ナイル川は毎年決まった時期に定期的な氾濫を繰り返し、そのたびに下流域に肥沃な土壌を運びました。人々はこの恵みを利用して農耕を行い、食料を確保することで高度な文明を築くことができました。
問17	答え 石造建築	石造建築は、巨大な石の角を削り、隙間なく完璧に合わせる高度な技術です。この技術により、インカの建物は接着剤を使わなくても強固で、地震が起きても石同士がわずかに動くことで倒壊を防ぐ仕組みになっています。マチュピチュの都市全体がこの技術で構築されました。
問18	答え モスク	モスクは礼拝を行う場所であり、美しいドームやミナレット（塔）が特徴です。建物内には偶像を置かず、メッカの方角を示す壁のくぼみであるミフラーブが設けられています。
問19	答え ミラノ勅令	コンスタンティヌス大帝によって出されたミラノ勅令は、キリスト教を含むすべての宗教の自由を認め、これまで行われてきたキリスト教徒への迫害を停止させる画期的な出来事でした。これにより、信徒の財産が返還されるなど、宗教活動が公的に保証されました。
問20	答え ナイル川	ナイル川のこの性質により、川沿いでは古代から安定した農業が営まれました。毎年決まった時期に氾濫するため、人々はいづれをまき、いつ収穫すべきかを知るための暦を発達させる必要がありました。これにより文明が発展しました。
問21	答え 大化	645年の大化の改新により「大化」という元号が定められました。これは中国の制度を模倣し、天皇の権威を象徴するために導入された新しい試みです。中央集権的な国家体制を築く「公地公民」や「班田収授の法」といった施策がこの改革の大きな柱となりました。